令和８年４月

板橋区立志村第三小学校　令和８年度　学校経営方針

ワクワク！

子どもが主役の学校

～リーダー・イン・ミー教育の実践を通して～

板橋区立志村第三小学校　校長　海沼　秀樹

「子どもが主役」の学校づくりを目指す。キーワード「責任」「信頼」「誇り」

～全ての判断基準の第一は子どもです。子どもにとって良いと思うことは積極的に取り組みます。～

東京都教育ビジョン（第５次）　東京の目指す教育

誰一人取り残さず、すべての 子供が将来への希望を持って 自ら伸び、育つ教育

MIRAI SCHOOL いたばし　-教育ビジョン 2035-

2035 年に向けた教育における未来を描いた指針

最も大切にする考え方

教育は人が幸せに生きるためにある ―学ぶ喜びや成長する喜び、人とつながる喜びを感じられる一人ひとりの生涯―

教育における幸せ＝３つの喜び（学ぶ喜び、成長する喜び、人とつながる喜び）

MIRAI という言葉にこめた、「5 つのチカラ」

自分らしく進むチカラ（Motivation）認め合って生きるチカラ（Inclusion）つながり助け合うチカラ（Relation）

自ら行動を起こすチカラ（Activation）ゼロから切り拓くチカラ（Innovation）

https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/vision/1061061/index.html

本校の学校教育目標　リーダー・イン・ミー　７つの習慣

〇進んで働く子 →**自分の役割に積極的に取り組み、達成する子**

第１の習慣「自分で考えて行動する・自分に責任をもつ」

〇考えて行動する子 →**基礎・基本を身に付け、見通しをもって意欲的に学習に取り組む子**

第２の習慣「ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。」第３の習慣「大切なことを今すぐに。自分の約束を守る。」

〇なかよく助け合う子 →**自分に自信をもち、自己抑制ができ、思いやりのある子**

第４の習慣「Win-Win を考える。」第５の習慣「まず理解に徹し、そして理解される。」第６の習慣「シナジーを創り出す。」

〇健康で明るい子 →**諦めない心とやり遂げる体力のある子**

第７の習慣「刃を研ぐ。」

子どもが主役の学校

子ども一人ひとりの「生きる力」を育む質の高い授業を実現する。地域とともに子どもを育てる学校を推進する。

行動目標　・いじめ０、不登校０

地域に開かれ・根ざした学校「地域と共に子どもを育てる」

地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら、地域に親しみをもち、人との関わり合いを大切にできる子を育てる。学校を中心に互いに信頼関係を構築することで、この志三小地域で暮らすことへの誇りをもてるようにする。

「子どもが主役の学校」　教職員の基本姿勢　リーダー・イン・ミー教育の実践

〇教師自身が児童の**手本**となる。**明るく温かく笑顔**で。

〇**明るさや温かさ**を根底にしながら、指導すべき点は明確に伝わるよう、身に付くよう温かく寄り添って指導する。（**体罰・暴言はあってはならない**。）

〇いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす**人権尊重教育の徹底**に努める。

〇**保護者と共**に、児童の成長を喜び合う。

〇**子どもの思いを受け止め**、良いことと悪いこととを明確に教える。勇気づける指導を進める。

〇保護者・地域と**温かい関係を築き**、共によりよい学習環境・居場所を創造する。**（iCS との連携）**

〇特別支援教育への理解を進め、一人ひとりの良さを伸ばし、**考える・分かる・できる**喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。

○進んで働く子

第１の習慣

「自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。」

・感情に流されない強さを育てる
・能動的な言葉で自分の主体性を引き出す子を育てる
・「自分が出来ること」に注力する子を育てる

当番活動・委員会活動「みんなのためになる、学校が楽しくなる工夫」
環境美化　清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろえる、傘立てをきれいにする等）

言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を校風にまでしていく。

○考えて行動する子

第２の習慣

「ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。」

・おわりに何を思いたいかをイメージする力を育てる
・自分のミッションを決められる力を育てる

第３の習慣

「大切なことを今すぐに。自分の約束を守る。」

・最良の選択が出来る力を育てる

①　個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

確かな力と豊かな力を身に付ける授業

○板橋区授業スタンダードの実践　読み解く力の育成

・めあてを明確にもち、自ら考え、学び合う授業
・正しく読み取り、考え、表現する場を取り入れた授業
・教えるべきところをしっかりと教える授業

○授業スタンダードＳの実践

・児童が自己選択、自己決定、自己調整(self＋select)する場を取り入れた授業
・多様な児童生徒のニーズに応える授業
・一人一台端末を効果的に活用した授業

⇒各教科等の特性や単元・題材のねらい、児童・生徒の実態に応じて、教師が選択する(Select)。

○自分の考えを広げ、深める話合い活動の充実

・目的を明確にした意見交流の場を取り入れた授業
・根拠をもって説明できる力の育成
・多様な見方・考え方を尊重した話合い活動の実践

○校内研究のテーマ

「（検討中）個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点から」

②　外部や地域の講師と連携した体験的な授業

本物から学ぶ場の設定

豊かな体験は、豊かな心を育み、子どもたちに学ぶ意欲や追究する力を育てる。**本物との出会いを大切にし、体験的な授業の充実を図る。**

③　キャリア教育・環境教育・防災教育の充実

「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し
キャリア教育・環境教育・防災教育の充実を図る。

学習指導は、生活指導の基本である。子どもたちが主体的に生き生きと活動する授業を進めていく。

＜特別支援教育の充実＞

ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り
教室掲示、ICT の活用で子供の特質を考慮する

＜ステップアップ教室　拠点校＞

・４校（志一小、志二小、志三小、加賀小）における特別支援教育の充実

＜きこえとことばの教室＞

・一人一人の児童の課題に合わせた個別指導の充実
・読み書きする力の向上

⇒在籍学級との連携　同じ目線で共に活きる指導

○なかよく助けあう子

第４の習慣

「Win-Win を考える。」

・信頼に支えられた成功を目指す子を育てる。

第５の習慣

「まず理解に徹し、そして理解される。」

・心に耳を傾けて聴く「傾聴」出来る子を育てる。
・自分が変わるから、相手が変わる気持ちを育てる。

第６の習慣

「シナジーを創り出す。」

・わかり合う難しさの中にこそ、成長と創造の機会があることが分かる子を育てる。
・自分の中にシナジーを起こし、波紋の中心になる子を育てる。

① いじめ・暴力を許さない。

・いじめを生まない関係作り・言葉遣いは心遣い
・ふれあい月間アンケート
・ＷＥＢQU アンケートの活用
　→意欲の向上・自己肯定感の向上目指す
　　児童のサインを見逃さない

※校内いじめ防止対策委員会を機能させ、いじめを許さない風土を作り上げる。（各機関との連携）

②　思いやり勇気のある子

・自己肯定感を高める指導、支援。
・相手の利益を考え、自分の利益も大切にする気持ち
　→「思いやり」「勇気」
・どの子にも出番のある場の設定
・達成感のある行事

③　仲間と共に助け合える子

・困っている友達に、優しく接することができる。
・福祉教育（道徳教育・人権教育）、特別活動の充実
・よりよく生きるための実践につなげる道徳

○健康で明るい子

「共遊び」の推進

第７の習慣

「刃を研ぐ。」

・人間関係に貢献して、自己の価値への自信を高める子を育てる。

①　体力向上　*運動を楽しむ子の育成*

・体育の授業の充実
・年間を通した計画的な体力づくり
　短なわ跳び月間等　チャレンジすることを楽しむ

②　自己管理

・「早寝・早起き・朝ご飯・運動」
　基本的生活習慣の定着
・ソーシャルスキルトレーニング（社会性）
・ストレスマネジメント（気分のコントロール）
・安心・安全の知識「自分の身は自分で守る」
・SNS 等のかかわり方　セーフティ教室等

③　健康・保健への意識

・食育推進　学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習　⇒　**本物から学ぶ**
・心と体、自他の**命を大切にする学習**

＜学びのエリアでの連携＞

・志村村第一中学校、志村第一小学校、志村第三小学校、富士見台小学校で９年間を見通した一貫した知・徳・体の育成

＜近隣幼稚園保育園との連携　幼保小連携＞